

## 第8回国際シンポジウム 開催報告

開催日：2005年11月18日
会場：南青山会館
参加者：約100名
テーマ：東アジアにおける経営倫理の現状と課題

政治的には靖国問題をはじめ、種々の齟齬があるとはいえ、東アジア日・中・韓の経済的な相互の関係の緊密化はグローバル化時代の進展により益々増強されています。2005年の第8回国際シンポジウムは、日本・韓国・中国の経営倫理に関する代表者をお招きし、各三国における経営倫理の現状と課題を報告いただきました。

プログラムの終了後、三国間の経営倫理に関する協力共同宣言を採択しました。(⇒[三国協力共同宣言書](#))



### 【スケジュール】

13:15-13:30	開会挨拶
13:30-17:25	13:30-14:50 韓国
	15:05-16:25 中国
	16:25-17:25 日本
17:25-18:00	質疑応答と総括

【スピーカー】

【韓国】 Prof. Young-Chul Chang (韓国経営倫理学会会長・Kyung Hee 大学教授)  
Mr. Duck Jin Lee (Yuhan Kimberly 社 副社長)

【中国】 帥 重慶 教授 (山東財政大学学長)  
Prof. Alicia S. M. Leung, Ph. D. (香港バプティスト大学 准教授)  
Mr. David W.K. Wong (EganaGoldpfeil 社 常務執行役員)

【日本】 田中 清 氏 (日本経済団体連合会 常務理事)  
水谷 雅一 (経営倫理実践研究センター会長)